

市ホームページでまちの出来事を紹介している「フォトでお知らせ」。広報版はホームページから内容を抜粋して掲載しています。

昨年までの同大学短期大学部児童学科の「卒業公演」を継承

「市民に愛されるオーケストラ」を目指して

平成28、29年全国学力・学習状況調査で、全教科全国平均を上回る



2/18 名寄市立大学社会保育学科 地域公演



地域公演が市民文化センターE・N・RAYホールで開催。演目は絵本「めっきらもっきらどおんどん」を演劇にしたもの。公演の最後には学生全員で「虹」を合唱しました。



2/21 智恵文中が全国交通安全 優良学校として表彰



全日本交通安全協会が、交通安全教育を積極的に推進し、児童・生徒の交通安全教育と交通事故防止に顕著な功績があった学校を選定。同校では約30年間交通安全啓発活動を実施しています。

今回は、全国で51校、道内で2校が受賞。



2/25 日本最北のオーケストラ 初めての定期演奏会



日本最北のオーケストラ「名寄市少年少女オーケストラ」の第1回記念定期演奏会が市民文化センターE・N・RAYホールで開催。会場は大きな拍手がわき起こるなど大いに盛り上がりました。



3/3・4 市民スキーの日

市民が雪を親しむことを目的として、ピヤシリスキー場のリフト乗車が無料になる「市民スキーの日」と「名寄ピヤシリ歩くスキーフェス」がこの2日間で開催されました。市民スキーの日はスキーこどもの日と同日開催で3月3日に行われ、ピヤシリスキー場は多くの人々ににぎわいました。また、3月4日に開催された名寄ピヤシリ歩くスキーフェスは市内外からおよそ160人が参加。小雨の降る中、ゆっくりと滑る親子や思い切り駆け抜ける子どもなど、それぞれのペースで完走を目指し、さわやかな汗を流しました。

冬のスポーツを楽しむ2日間



2/27 名寄中が 上川管内教育実践表彰を受彰



「高い感受性と自主性をもった生徒の育成～アクティブラーニングの効果的な活用を通して～」を研究主題とし、感受性や自立性、創造性の育成に取り組んでいることなどが評価されました。

3/7 西保育所修了式



西保育所修了式が同保育所で行われ、13人の所児が卒所しました。式では、修了児一人ひとりに保育証書などが手渡され、子どもたちはお母さんなどのもとに歩いていき、その証書を手渡しました。

楽しく過ごした保育所にお別れ

3/5 名寄消防署に 救助工作車が配備



複雑多様化する救助事案に対応できる資機材を積載し出動できる救助工作車が披露されました。この救助工作車は、災害が発生した都道府県に出動することも想定されています。

4月1日に緊急消防援助隊の車両として登録されます

3/16~19 JOCジュニアオリンピック カップ(スキーノルディック)



本市を舞台に、「JOCジュニアオリンピックカップ2018全日本ジュニアスキー選手権全日本中学生選抜スキー大会(ノルディック種目)」が開催されました。3月16日の開会式では、選手を代表して瀬川英美佳選手(下川商業高校3年・名寄市出身)が選手宣誓。戦いのスタートが切られました。(競技はスペシャルジャンプ、コンパインド、クロスカントリー)この大会には、本市在住の小学生6人、中学生3人、高校生5人のあわせて14人が出場しました。また18、19日には「市民の表彰式」も行われ、選手たちの健闘を讃えました。

全国から集まった小中高生581人が熱い冬の戦いを繰り広げました

3/16 風連下多寄小卒業式



4月から通う中学校の制服に身を包んだ2人の卒業生が入場。村上校長から卒業証書を受け取り、保護者や在校生たちから拍手を送られながら、思い出が詰まった学び舎を旅立ちました。

同校は平成30年度をもつて閉校。新6年生不在のため、最後の卒業式

3/20 名寄市立大学・同大学短期大学部 卒業証書・学位記授与式



同大学体育館で行われ、145人の卒業生が慣れ親しんだ学び舎に別れを告げました。式では、各学科ごとに一人ずつ名前が読み上げられ、学科代表に佐古学長から卒業証書・学位記が手渡されました。

昭和35年開学の同大学短期大学部は、最後の卒業生を送りました